



桃五だより



No.601

(7月号)

2021.7.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

まず使ってみよう

副校長 日向 須真子

5月25日、4・5・6年生に一人一台ずつタブレットが貸与されました。授業で、タブレットの立ち上げ方、ID/PWの入力の仕方、ロイノートなどの様々なソフトの使い方など、担任の先生と確認しながら操作しました。6月11日(金)から4・5・6年生はタブレットの持ち帰りを始めました。保護者の皆様には、袋のご準備などご協力ありがとうございました。

6月14日からは、2・3年生がタブレットを使い始めました。高学年と同じように教室で担任の先生とタブレットの立ち上げ方やID/PWの入力の仕方など、ひとつひとつゆっくと確認しながら進めました。

1年生も7月からタブレットを使います。そして、1・2・3年生のタブレットは学校で保管します。

教員も授業でタブレットをどのように活用できるか様々な挑戦をしています。社会・総合・国語・英語・体育などで使っていて、校内のいろいろな場所でタブレットの画面が林立している状態です。

6月19日(土)は学校公開が行われず残念でした。子供たちがタブレットを使って授業をしている姿をお見せしたいと思い、今後、参観していただける機会を作りたいと考えています。

放課後の職員室では「こういう場面でのタブレットの使用効果的だった」「この場面ではタブレットは閉じさせて黒板に集中させた方がいい」「体育のフォームを撮影して見させたら、子供の思っていたのとフォームが違って、学習への意欲がかわったようだ」など、話し合いがされています。

授業中の子供の様子を見ていると、真剣に画面を見つめて書き込む様子やキーボードで打ち込んでいる様子が見られます。また、子供たちからは「タブレットを使った授業は楽しい」「時間があっという間に過ぎる」などの感想も聞かれます。

そんな中、床に落ちると画面にすぐにひびが入り使用できなくなるケースが出てきました。あまりに損傷がひどい時は修理に出しますが、修理に出すと1~2か月使えなくなることがわかってきました。

今は様々な場面でタブレットを活用した授業を行い、学力向上に効果的な使用方法を探っています。タブレットの利点は、書いたり消したりが紙に比べて楽にできること。順番を並べかえたり、項目を付け足したりするのが容易にできることが挙げられます。これらの利点を生かして、児童には広くたくさんの知識や情報を集めさせ、自分なりの考えで内容ごとにまとめさせます。また、本校の校内研究の核である対話活動と組み合わせ、自分の考えや思いを友達に伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら問題を解決していく力を養います。学力の向上という目標に向かってタブレットを上手に活用していきます。

【桃五のタブレットの扱い方ルール】

1. 先生の指示があった時に使用する。
2. 必ず袋に入れ、ランドセル内にしまう。
3. 専科等で移動するときは「手提げ」に入れる。
4. 直接持って運ぶときは、胸に当て、手をタブレットの下に当て滑り落ちないようにする。
5. 机の板面に直接置くようにする。
6. タブレットを閉じるときは何かを挟まないように注意する。
(画面にひびが入るため)
7. ペンを使うときは画面にやさしく当てる。
8. パソコンが思い通り動かないときは何度もキーを押さずに待つ。(押せば押すほど動かなくなるため)
9. 休み時間は使用しない。

子供たちには慎重に扱うように伝えていきます。保護者の皆様には、毎日の持ち帰り、充電などでお手数をおかけいたしますが、ご協力の程お願いいたします。

7月の生活指導目標

気持ちのよいあいさつをしよう

「おはようございます」「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」・・・桃五小ではいつも元気な挨拶が飛び交っています。元気よく挨拶を交わすと一日を良い気持ちで始められます。これからも桃五小では挨拶運動を推進していきます。ご家庭でもご協力よろしく願いいたします。